

2020年度ゼミ (3003 演習 2A/3004 演習 2B) 要覧

担当者名	熊倉 正修
演習テーマ	「働くこと」の国際比較
校外実習	1、実施しない 2、実施 (実施時期: 年 月)
メール・アドレス	kumakura@k.meijigakuin.ac.jp
オフィス・アワー	月曜5限
2019年度に開講しない可能性 (在外研究・特別研究)	なし。
授業概要	この演習では、外国との比較を重視しつつ、 ① 日本の若者の就業行動やキャリア形成 ② 日本の企業や官公庁における組織運営の特徴 ③ それらの背後にある人々の価値観と社会規範 について考察します。
学習目標	① 社会人として生きてゆく上で必要な知識・スキルを習得する。 ② 卒業後のキャリアを主体的に模索する。 ③ 日本と外国の働き方や企業組織の違いを理解する。 ④ それをもとに、私たち日本人がどのような人々なのか、日本社会にどのような特徴と問題点があるかを客観的に考察できるようになる。
授業計画	① 特定の学問ではなく、複数の学問分野 (経済学、経営学、法学、社会学、歴史など) からアプローチします。 ② 内容的にも深さより広さを重視するので、授業外でみずから掘り下げるべきことを掘り下げる努力が必要です。 ③ 教室での授業に加え、学外の社会人のインタビューとその報告書の作成に取り組んでもらいます。 ④ 途中で一回、10,000字程度のレポートを書いてもらいます。
予習	そのつど指定します。
復習	そのつど指定します。
授業に関する注意事項	ディスカッションに積極的に参加すること、他の履修者と協力し合うこと、自分の将来について真剣に考えることを求めます。
教科書	複数の資料を利用します。
参考書	複数の資料を利用します。
成績評価の基準	発表やディスカッションへの貢献度 (50%)、レポート・課題 (50%)。 無断欠席は大幅な減点の対象となります。
関連 URL	http://www.meijigakuin.ac.jp/~kumakura/
備考	私の演習 2A・B の内容は演習 1 から連続しています。演習 1 では、雇用に関する法律や会計、表計算ソフトの利用方法の基礎を学びました。これらの知識がまったくない状態で演習 2A から参加しても、単位の取得は難しいでしょう。また、2020 年度は演習 1 からの継続履修者だけでも人数が非常に多いので、特別な事情のある人をのぞき、演習 2A からの履修は認めません。どうしても履修したいという人は、十分な時間の余裕を持って研究室を訪ね、なぜ履修を希望するかを説明して下さい。事前相談なしに応募した人は受け入れません。

